

学校教育目標	「ともに学び ともに高め合い ともにかがやく」 ・すすんで学び合い、考えを深める子（知）（開） ・自分も友達も大切に、集団の中で自分らしさを発揮できる子（徳）（公） ・健康に関心を持ち、心身共に成長する子（体）					
	学校概要	創立 31 周年	学校長 村越 直之	副校長 宮崎 智洋	2 学期制	一般学級：18 個別支援学級：3
児童生徒数： 570 人		主な関係校： 中川西中学校 都筑小学校 荏田小学校 すみれが丘小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> 多様性を尊重して協働する力 相互に考えを伝え、深め合い、合意形成する力 自分らしさを発揮しようとする力 自己実現に向けて、自主的に考え、課題解決をする力 	<ul style="list-style-type: none"> 中川西中学校 都筑小学校 荏田小学校 すみれが丘小学校 	<ul style="list-style-type: none"> つながりの中で、あいさつをしっかりとする子 つながりの中で、認め合い、励ましあい、高めあう子 つながりの中で、自らの課題を見つけ、解決しようとする子 「主体的、対話的で深い学び」をブロック授業研のテーマとして設定し、各教科等領域においてテーマを意識した授業を展開する。(6月 小中連携授業研究会) 児童生徒の交流日に、6年生が授業参観や部活動見学を行う。

中期取組目標	<p>○子ども一人ひとりを大切にしながら、まちとともに歩む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽しく充実した授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。 一人ひとりが自己有用感を持ち、楽しく学校生活を送れるようにします。 健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。 「人」「もの」「こと」の関わりを重視し、豊かな体験を通して、まちとともに歩む心を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知	①子どもが主体的に問題解決していく力を育成するために、課題設定を工夫し、学びに向かう姿勢を大切にしてい。②知識や経験を関連付けながら課題解決を図ったり、他者と協働したりする中で、対話的で深い学びに向けて授業改善を推進する③個に応じた指導や支援を充実する。
豊かな心	①たてわり活動、クラブ活動、宿泊体験学習などの様々な教育活動の中で、異学年交流、学年内交流などの多様な集団づくりを心掛け、互いを思いやる豊かな心を育む。②児童会活動を中心にあいさつ運動を推進し、人とのつながりを深める。③道徳の時間、人権教育を通して、心を育む教育を推進する
特別支援教育	①合理的配慮を含め、個々に応じた支援をし、教育活動の充実を図る。②特別支援教育の視点を取り入れた環境整備や授業の構造化を図る。③全教職員で特別支援教育の研修をして、理解を深め、実践に生かす。④個別支援学級の授業参観、研究協議に参加し、ユニバーサルデザイン教育について理解を深める
児童生徒指導	①児童のよさや課題について、全職員が共通理解する場を定期的にもち、適切な支援をする。②全教育活動を通して、道徳・人権教育との関連を図り、自他を大切にすることを育て、人権意識を高める。③「スタンダード」を全職員で共通理解し指導にあたるとともに、実情に合わせ見直す。
健やかな体	①「手洗い、うがい」を奨励し、学校保健委員会を中心として、児童自身の意識向上、家庭と連携して日常的に健康保持増進、心の健康に取り組む。②「なわとび集会」など、楽しく体を動かす活動に取り組む。
安全管理	①防犯マニュアル・防災計画を整備し、児童への訓練および引き取り訓練や職員の研修・訓練によって、適切で迅速な対応がとれるようにする。②毎月1回、施設の安全点検や登下校路をの安全確認を行い、全職員で安全・安心な環境づくりに努める。
地域連携	①各学年の児童の実態に応じて、ゲストティーチャーやを利用した体験学習の充実を図っていく。②学援隊など、地域ボランティアや保護者との連携を大切にして、児童の登下校の安全を見守る。③幼稚園や保育園、中学校との縦断的な関わりをもつ機会をつくり、交流を推進する。
教育課程学習指導	①重点研究として取り組む「算数」を中心に、「学びを深める」を共通意識して指導を積み重ね、児童が主体的に取り組む、考えを深められるような授業を実践できるようにする。②外部講師を招き、授業研究会を行い、指導を仰ぎ、授業力向上を推進する。
いじめへの対応	①教育活動を通して、豊かな関わりの中で望ましい人間関係を築く。②アンケートによる情報収集や「いじめ見とりシート」の活用から、早期発見に努める。②いじめ防対委で情報の共有を図り、課題解決や未然防止に努め、組織的に対応する。③研修を実施して教職員の感度を高める。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①計画的で効率的な学年研を心掛け、行事や学習、児童指導について情報交換や、指導の共通化を図っていく。②担任やチームリーダーとの連携を図り、協働を図りながら指導力の向上を目指す。③定期的にメンター研修会を行い、5年次以下の教員を中心に授業研究や児童指導研修を行い、組織的な人材育成を行う。